

# 小学校 国語

年

組

番

氏名

Ⅰ 太田さんの学級では、環境問題かんきょうについて調べ、スピーチでしようかいし合うことにしました。太田さんは、食品ロスについて調べ、メモをもとに、資料を画面に映うつしながらスピーチの練習をしています。同じテーマを選んだ友達にスピーチの練習を聞いてもらい、スピーチの様子や聞き手の様子を録画しました。同じ回は、太田さんの【スピーチメモ】【スピーチ】、へ資料1、2、3、4です。これらをよく読んで、あと

【スピーチメモ】

「はじめ」

○話題の提示

・食品ロスの説明へ資料1へ

「中」

○調べたこと

・すてられる野菜があるへ資料2へ

○試したこと

・野菜スープづくりへ資料3へ

・にんじんきんぴらづくりへ資料4へ

「終わり」

○まとめ

・自分の考え



【スピーチ】

みなさんは、食品ロスという言葉を知っていますか。〈資料1〉食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。年間五百二十三万トンの食品が捨てられています。食品ロスの原因としては、食べ残しや期限切れ、食べられる部分はいきが挙げられます。

私は、食べられるのに捨てられる野菜の部分があることを初めて知りました。これはブロッコリーの写真です。〈資料2〉ブロッコリーは給食にもよく使われる野菜ですが、円で囲んだしんの部分は捨てられることが多いようです。調べると、ブロッコリーはどの部分も食べることができる野菜だと分かりました。捨てられる野菜をおいしく食べる方法を知りたいと思いませんか。

捨てられる野菜をへらすために、自分で試したことをしようかいたします。〈資料3〉一つ目は、野菜スープです。ブロッコリーのかたい皮をむき、火が通りやすいように短ざく切りにして、ほかの野菜といっしょにします。しんの部分はしやしきしきした歯ごたえでした。

〈資料4〉二つ目は、にんじんの皮には栄養がふくまれています。皮をよく洗い、千切りにしてはたらかがあるそうです。

ウェブサイトには、ほかにもあげる、むすなど工夫して調理するレシピがたくさんあります。調理方法を工夫して食べること、捨てられる野菜の量を減らすことができると考えます。ぜひ作ってみてください。みなで、食品ロスを減らしていきたいませんか。



太田さん

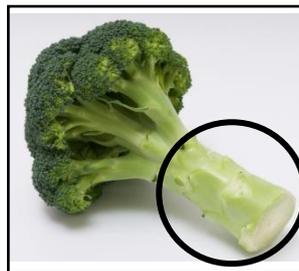
〈資料4〉



〈資料3〉



〈資料2〉



〈資料1〉

【食品ロス】

食べられるのに  
捨てられてしまう食品

一 太田さんは、すてられる野菜を減らす方法を伝えるために、どのような構成で話していますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 事実と意見を関連付けて、「はじめ」で問題とそれに対する自分の意見の両方を話している。
- 2 事実と意見を区別して、「中」で体験したこと、「終わり」で自分の意見を話している。
- 3 感想を印象付けられるように、「はじめ」と「終わり」で自分の感想を話している。
- 4 事実と感想とを区別して、「中」で調べたこと、「終わり」で自分の感想を話している。

二 太田さんが、「スピーチ」で、「資料1」を使った理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 引用した数値を示すことで、聞き手に納得なっとくしてもらうため。
- 2 自分の疑問点ぎもんを示すことで、聞き手にいっしょに考えてもらうため。
- 3 大事な言葉の意味を示すことで、聞き手に正確に理解してもらうため。
- 4 スピーチでは話さないことを示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらうため。

三 太田さんは録画した【スピーチ】と揭示物【話し方のヒント】を見て、話し方を見直しています。次の【太田さんが考えた改善点】について、あなたが太田さんなら、【スピーチ】の□をどのように話しますか。□A、□Bに入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【話し方のヒント】

速さ	速く ゆっくりと
強さ	強く やさしく
大きさ	大きく 小さく
声の調子	最後の言葉を上げる 最後の言葉を下げる
間を取る	

【太田さんが考えた改善点】

ずっと同じ調子で話していたから、【話し方のヒント】を参考に話し方の工夫とその目的を考えたいよ。  
私が一番伝えたい意見を、工夫して話したいな。  
「みんなで、食品ロスを減らしていきたいませんか。」のところを、  
聞き手に□A  
□B  
ために、  
ことにしよう。



〈条件〉

- 書き出しの言葉に続けて、□Aに工夫して話す目的、□Bに話し方の工夫を書くこと。
- □Aと□Bに関連があること。

聞き手に □A □B  
ために、 □B  
ことにしよう。